経済·金融 フラッシュ

ロシアの物価状況(24年12月) -前年比伸び率は9%台半ばまで上昇

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

1. 結果の概要:前年比は 9.5%まで上昇

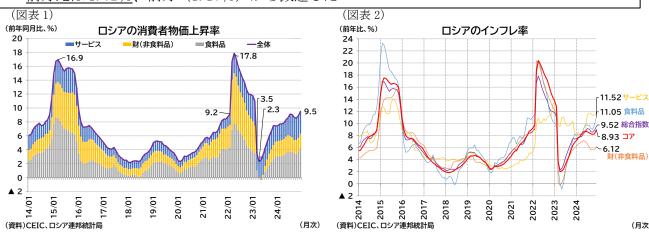
1月16日、ロシア連邦統計局は消費者物価指数を公表し、結果は以下の通りとなった。

【総合指数(24年12月)】

- ・前年同月比は9.52%、市場予想(9.8%)より下振れ、前月(8.88%)から上昇(図表1)
- ・前月比は1.32%、市場予想(1.60%)より下振れ、前月(1.43%)から加速した

【コア指数2(24年12月)】

- ・前年同月比は8.93%、前月(8.28%)から上昇(図表2)
- ・<u>前月比は 1.02%</u>、前月(1.10%)から減速した



2. 結果の詳細:食料インフレの強さが目立つ

12月のロシアのインフレ率は前年比で9.52%となり、11月(8.88%)からさらに上昇した。 インフレ率を大分類別に見ると、12月の前年比伸び率は食料品が11.05%(前月:9.85%)、財 (非食料品)が6.12%(前月:5.71%)、サービスが11.52%(前月:11.41%)となり、総じて上 昇しているが、特に食料インフレが全体の伸びを押し上げた。また、サービスインフレも高止まり が続いている。

(日次)

前年比寄与度では食料品が 4.2%ポイント程度、財(非食料品)が 2.1%ポイント程度、サービ スが 3.2%ポイント程度だった(図表 1)。

² 生鮮食品など季節的要因による影響を受ける品目や管理品目を除いた指数。

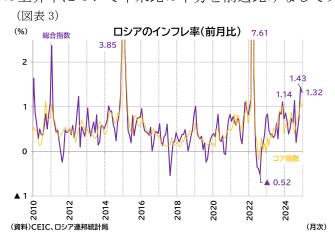


¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

12月の前月比伸び率は、総合指数で1.32%、コア指数で1.02%となった。前月(総合指数1.43%、 コア指数1.10%)から減速したものの、総合指数・コア指数ともにコロナ禍前の標準的な上昇率を 上回った(2018年の前月比伸び率は平均で総合指数が約0.35%、コア指数が約0.30%、図表3)。 また、11 月の前月比伸び率は、侵攻直後の高騰を除きロシアのウクライナ侵攻後で最高となった が、12月も11月に次ぐ高水準だった。

前月比伸び率を大分類で見ると食料品が 2.60% (前月: 2.33%)、財(非食料品)が 0.81% (前 月:0.51%)、サービスが0.20%(前月:1.31%)となった。

別途、ロシア連邦統計局が公表している週次のインフレ率(消費者物価上昇率)を見ると、最新 の1月13日時点において、年末比(約2週間前)で0.67%上昇している(図表4、図表4では1/13 の上昇率について年末比の半分を前週比みなしてプロットしている)。





ロシア中央銀行が公表する家計のインフレ期待(1年先中央値、実際のインフレ率よりも高めに なる傾向がある)は、12月は13.9%で11月から上昇した。これまで過去の傾向(期待インフレ率 ≒前年比インフレ率+6%、図表 5)と比較すると、期待インフレ率と実際のインフレ率との乖離が 拡大している状況が続いている (期待インフレ率がやや低め)。

品目別の上昇率を見ると3(図表 6)、12月は 前年比でバター (36.23%)、その他サービス (29.96%)、青果物(22.09%)の伸び率が高い。 また、前月比では、青果物 (9.09%)、卵 (5.77%)、 植物油(4.44%)の上昇率が相対的に大きかっ た。

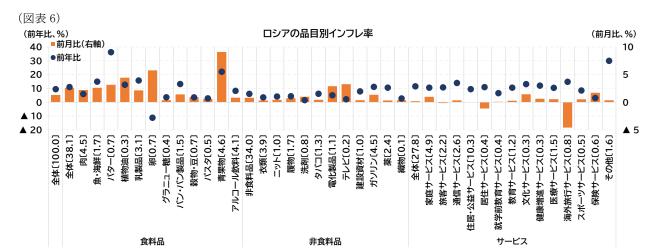
各品目の消費ウエイトも考慮して、全体のイ ンフレ率への寄与を品目別に見ると(図表 7・ 8)、前年比上昇率への寄与が大きい品目は青果 物(1.01%ポイント)、住居・公益サービス(0.98%ポイント)だった。

(図表 5) (%) ロシアのインフレ率と家計のインフレ期待 14 インフレ塞(右動 18 12 16 10 8 12 10 4 家計のインフレ期待 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 (注)家計のインフレ期待は1年先の中央値 (資料)Datastream、Bloomberg (インフレ期待:日次、物価:月次)

前月比上昇率の寄与では、青果物(約 0.42%ポイント)、肉(約 0.10%ポイント)、乳製品(約 0.07%ポイント)、ガソリン(約0.06%ポイント)のプラス寄与が大きかった。

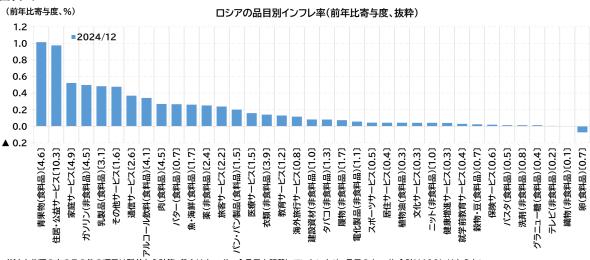
³ 大分類である食料品、財(非食料品)、サービスをそれぞれ細目別に分類したもの(中分類)のうち、統計局のウェブサイトで公表 しているものを記載。





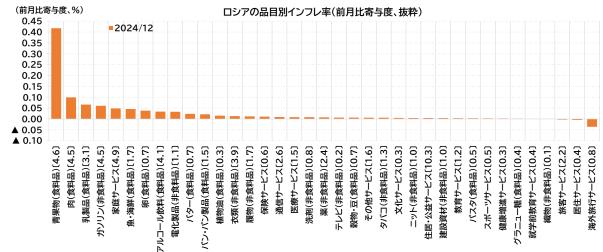
(注)大分類の中のその他の項目は残差から計算、〔〕内はウエイト、全品目を記載していないため、品目のウエイト合計は100にはならない (資料)CEIC、ロシア連邦統計局

(図表 7)



(注)大分類の中のその他の項目は残差から計算、〔〕内はウエイト、全品目を記載していないため、品目のウエイト合計は100にはならない (資料)CEIC、ロシア連邦統計局

(図表 8)



(注)大分類の中のその他の項目は残差から計算、〔〕内はウエイト、全品目を記載していないため、品目のウエイト合計は100にはならない(資料)CEIC、ロシア連邦統計局

⁽お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。

